

事業シート(令和2年度予算)

27.観光課\_1

事業名	62100 観光宣伝推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	観光振興費					
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて行い、高山への来訪を促進する。	概要	・観光PR用のパンフレットやポスターなど宣伝ツールを作成する。 ・各種キャンペーンや物産展などへの出向による誘客宣伝活動を実施する。 ・関係自治体や民間事業者と連携したPR活動を展開する。 ・継続的なイベントや関係団体事業の支援(協賛広告)による誘客宣伝を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
観光客入込者数	444万人		500万人
観光客入込者数(日帰り)(年間)	221万人		230万人
観光客入込者数(宿泊)(年間)	223万人		270万人
観光客消費額(年間)	933億円		890億円
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	87.2%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	16,448	13,844	14,300			
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他(入湯税、広告事業雑入 等)	15,370	13,844	13,822			
一般財源	1,078	0	478			
個票枝番	主な事業内容					
	観光パンフレット等の作成	10,000	7,963	10,000		
	総合パンフレット概要版の作成	2,130	2,086			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		13,760
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
13,154	13,760	13,760	△ 540	
12,157	13,409	13,409	△ 413	
997	351	351	△ 127	
査定額	説明			
9,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・観光PR用パンフレット、ポスターなど情報発信ツールを作成し、観光キャンペーン等で活用した。 ・物産展や旅行エージェント、メディアを活用した誘客宣伝を積極的に実施した。 ・総合パンフレット概要版データを作成した。
評価等	・積極的なキャンペーン活動や大手旅行エージェントへの誘客宣伝を展開したことなどが奏功し、平成30年の観光客入込者数が444万人となった。 ・観光客の多様化するニーズを把握し、ターゲットを絞った戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて推進するための国内向け誘客宣伝、誘客対策に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

27.観光課\_1

62100

事業シート(令和2年度予算)

27.観光課\_2

事業名	62110 高山祭事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		産業振興計画			
			目	1	観光振興費		根拠計画			
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山祭の認知度の向上と来訪者の増加を図る。</li> <li>高山祭を安全に実施する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>祭協賛会組織への支援による官民一体となった誘客宣伝を実施する。</li> <li>観光客の安全な誘導に必要な資材の調達や警備の実施など来訪者の受入態勢を整備する。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	444万人		500万人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	6,500	6,067	6,570			
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他( )						
一般財源	6,500	6,067	6,570			
個票枝番	主な事業内容					
	高山祭協賛会に対する助成	2,000	2,000	2,000		
	案内本部の運営	3,980	3,532	4,020		
	交通量調査	520	535	550		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
10,589	6,620	6,620	50
10,589	6,620	6,620	50
査定額	説明		
2,000			
4,060			
560			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光キャンペーンや高山駅前にのぼり旗を設置するなど事前PRを実施した。</li> <li>祭会場内に案内本部や誘導看板を設置し、観光客等が安全に安心して観光できる環境を提供した。</li> <li>祭協賛会への支援を通じ官民一体となった取り組みを行った。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック・パラリンピック等経済界協議会から通訳ボランティアの協力を得たことにより、外国人観光客へのスムーズな対応ができた。</li> <li>春祭は19万8千人、秋祭は19万2千人と多くの人出となった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人観光客の対応を強化し、国内外からの観光客の誘致を図る。</li> <li>安全、安心な事業実施と観光案内を実施する。</li> <li>ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした、文化の伝承を意識した誘客活動をすすめる。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持・改善</li> <li>拡大</li> <li>縮小</li> <li>廃止検討</li> <li>H31完了</li> <li>R2完了予定</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して高山祭が見学できるよう、観光客等の案内及び安全確保に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおりに</li> </ul>
--------------	--

27.観光課\_2

事業シート(令和2年度予算)

事業名	62120 観光誘客推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・女性グループ、親子連れ、シニアグループなどを始めとした様々な国内外観光客層に、それぞれに適した活動プラン(体験プラン)の提供やおもてなしの充実を図り、個人観光客の増加に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画		
			目	1	観光振興費						
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山訪問の動機づけや周遊型・滞在型観光の魅力の向上を図り、多くの観光客や教育旅行を誘致する。	概要	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した誘客活動を展開する。 ・飛騨高山観光誘致推進協議会による官民一体となった誘客事業を実施する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	444万人		500万人
観光客入込者数(日帰り)(年間)	221万人		230万人
観光客入込者数(宿泊)(年間)	223万人		270万人
観光客消費額(年間)	933億円		890億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	16,000	16,000	26,000			
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他(入湯税)	16,000	16,000	26,000			
一般財源	0	0	0			
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨高山観光誘致推進協議会負担金	16,000	16,000	16,000		
	高山祭屋台の特別曳き揃え実行委員会負担金			10,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		16,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
16,000	16,000	16,000	△ 10,000	
16,000	16,000	16,000	△ 10,000	
0	0	0	0	
査定額	説明			
16,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。</li> <li>・&lt;主な取り組み&gt;</li> <li>・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した宣伝</li> <li>・交通事業者と連携した観光キャンペーン</li> <li>・岐阜県や姉妹友好都市等と連携した観光キャンペーン</li> <li>・教育旅行エージェント訪問やパンフレット、ホームページ等による情報発信</li> <li>・旅行博への出展</li> <li>・高根トンネルの開通を契機とした長野県伊那市及び木曾町との連携事業の実施</li> <li>・公開番組収録「出張！なんでも鑑定団in高山」</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民一体となった首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動を積極的に展開したほか、様々な媒体を活用した情報発信により、全国各地から多くの観光客が高山市を訪問され、平成30年の観光客入込者数が、444万人となった。</li> <li>・国内最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」に出展し、高山市の魅力を広く発信することができた。(主催者発表入場者数 207,352人)</li> <li>・高根トンネルの開通を契機とした誘客事業を、官民一体となって実施することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民一体となった誘客事業を継続する。</li> <li>・支所地域の観光関係団体との連携を強化する。</li> <li>・旅行者のニーズや観光動向に対応した効果的な誘客活動を実施する。</li> <li>・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起こしなど戦略的な誘客活動をすすめる。</li> <li>・高山祭屋台の特別曳き揃えを活用した誘客を展開する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H31完了</li> <li><input type="checkbox"/> R2完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など、民間団体と連携した誘客活動を展開するために必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度予算)

27.観光課\_4

事業名	62130 飛騨高山ウルトラマラソン開催事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		産業振興計画			
			目	1	観光振興費		根拠計画			
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域のPR、新たな観光客の獲得及び地域経済活性化を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨高山ウルトラマラソンを開催する。</li> <li>・各種団体や企業、市民ボランティアなど官民一体となった取り組みを行う。</li> <li>・大会に必要な物資等について市内を最優先として調達する。</li> </ul>
----	-------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	1,200	1,200	1,700			
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他(入湯税)	1,000	1,200	1,000			
一般財源	200	0	700			
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨高山ウルトラマラソン実行委員会負担金	1,200	1,200	1,700		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,700	1,700	1,700	0
1,000	1,000	1,000	0
700	700	700	0
査定額	説明		
1,700			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回飛騨高山ウルトラマラソンを開催し、全国各地から3,457人が参加した。</li> <li>・エイドステーションにおいて飛騨牛など特産品を提供し、おもてなしの取り組みを通じ飛騨高山のPRを行うことができた。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集人数を拡大し、過去最高の参加人数となった。</li> <li>・年々参加者が増加しており、大会の開催による市内への経済波及効果は高い。</li> <li>・応援者も多数同伴されており、魅力的な地域資源を活用したマラソン大会を開催することで、観光客の拡大に結び付いている。</li> <li>・参加人数の増加に伴い、駐車場や宿泊施設の確保、コースの安全確保などが課題になっている。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市全体が経済効果や地域力の向上を感じられる大会を開催する。</li> <li>・大会を支えるスタッフが、また参加したいと思える環境を構築する。</li> <li>・おもてなしの対応の充実や大会後の市内周遊の提案等により、リピーターや連泊者が増加する取り組みを強化する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H31完了</li> <li><input type="checkbox"/> R2完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山の魅力PRするためのおもてなしに必要な経費の計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

27.観光課\_4

62130

事業シート(令和2年度予算)

27.観光課 5

事業名	62140 観光協会等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・支所地域の資源や魅力を活用し、高山駅周辺などの中心市街地と支所地域が結ばれた市内観光ネットワークの構築に努めます。また、中部圏の広域観光ネットワークを拡充し、高山市が中部圏の広域観光拠点となるような機能整備に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画		
			目	1	観光振興費						
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・様々なツールを活用して飛騨高山を広く国内外にPRし、観光業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進を図る。	概要	・観光関連団体や観光関連事業主催者の取り組みを支援する。
----	---	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	444万人		500万人
観光客入込者数(日帰り)(年間)	221万人		230万人
観光客入込者数(宿泊)(年間)	223万人		270万人
観光客消費額(年間)	933億円		890億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		171,072	163,031	171,063			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(入湯税)	171,000	163,031	171,000			
一般財源		72	0	63			
個票枝番	主な事業内容						
	コンベンション誘致に対する助成	6,063	6,063	6,063			
	コンベンション開催に対する助成	18,009	12,484	18,000			
	観光客誘致推進に対する助成	100,000	100,000	100,000			
	観光イベント開催に対する助成	31,000	28,757	31,000			
	観光協会の運営に対する助成	16,000	15,727	16,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		174,063
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
172,463	174,063	174,063	3,000	
172,463	174,000	174,000	3,000	
0	63	63	0	
査定額	説明			
6,063	2市1村で負担			
18,000				
100,000	メディア事業、WEB事業、広告宣伝事業			
34,000				
16,000	高山・奥飛騨:限度額3,700千円 その他8地域:限度額1,300千円			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金</li> <li>イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金</li> <li>観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金</li> <li>飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成</li> <li>コンベンション開催支援事業 コンベンション開催数:80件、参加者数(飛騨地域除く):14,309人</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な誘客キャンペーンやイベント等を実施した一方、観光客入込者数は豪雨等の影響もあり、平成30年は444万人(対前年比△3.92%)となったが、5年連続で400万人を超えた。</li> <li>コンベンションは、更に大規模な大会や国際会議等を積極的に誘致する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き民間団体の取り組みを支援し、より効果のある事業を実施する中で観光客の誘致活動を積極的に行っていく。</li> </ul>

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H30完了</li> <li><input type="checkbox"/> H31完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・観光関連団体や観光関係事業への支援に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

27.観光課 5

62140

事業シート(令和2年度予算)

事業名	62150 観光振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨山脈を活用した国際山岳観光の振興に努めます。また、温泉ガストロミーツーリズム(温泉地内を歩き巡って、地元食材を食べ、温泉を楽しむツアー)やクアオルトウォーキング(自然・気候・地形を活用した健康療法)などによる誘客に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画				
			目	1	観光振興費						
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	戦略的な観光施策を展開し、観光振興によるにぎわいの創出を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略的な観光施策を推進する。</li> <li>・情報通信技術を活用した積極的な観光情報の発信を行う。</li> <li>・ユニバーサルデザインに基づく観光案内の整備を行う。</li> <li>・各種協議会などを活用した広域的な観光客誘致促進事業を展開する。</li> <li>・観光統計や交通量調査等による観光関連データを収集する。</li> <li>・携帯端末や専用機器を活用し、様々なニーズに対応した観光情報を発信する。</li> <li>・各種協議会への参加を通じた積極的な誘客活動を展開する。</li> </ul>
----	---------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	444万人		500万人
観光客入込者数(日帰り)(年間)	221万人		230万人
観光客入込者数(宿泊)(年間)	223万人		270万人
観光客消費額(年間)	933億円		890億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	33,964	29,481	23,552			
特定財源						
国費( )						
県費( )		150				
その他(入湯税等)	2,800	13,983	100			
一般財源	31,164	15,348	23,452			
個票枝番	主な事業内容					
	各種協議会負担金	14,452	14,453	14,452		
	芸妓育成に対する助成	1,500	1,500	1,500		
	地域資源を活用した誘致	1,600	1,201	1,600		
◎1	教育旅行調査					
	奥飛騨温泉郷活性化基本構想の策定・観光動態調査	10,170	6,537			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		24,426
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
41,029	23,426	24,426	874	
	600	600	500	
41,029	22,826	23,826	374	
査定額	説明			
14,452				
1,500				
1,624				
1,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握するとともに、観光動態調査を実施した。</li> <li>・各種協議会等に参画し、様々なテーマでの誘客宣伝活動を実施した。</li> <li>・おもてなし文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。</li> <li>・奥飛騨温泉郷活性化基本構想を策定するための調査を実施した。</li> <li>・地域資源を活用した観光振興として、ONSEN・ガストロミーツーリズムを推進するとともに、乗鞍エンジョイプロジェクトに対する助成を実施した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種観光振興事業を推進することで、平成30年の観光客入込者数が444万人となった。</li> <li>・おもてなし文化後継者育成事業を実施し、総合的に伝統芸能を習得させることができた。</li> <li>・観光統計を踏まえ、多様化する観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。</li> <li>・奥飛騨温泉郷活性化基本構想策定に係る調査では、アンケート調査や現況調査のほか、地域住民等との意見交換など様々な情報収集を行うことができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光動態調査をはじめとする各種調査結果やその分析に基づき、戦略的観光施策を検討する。</li> <li>・奥飛騨温泉郷活性化基本構想を策定する。</li> <li>・地域資源を活用した観光振興を推進する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H31完了</li> <li><input type="checkbox"/> R2完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域で連携した観光客誘致に必要な経費を計上</li> <li>・観光統計や交通量調査など観光関連の情報の収集に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・教育旅行調査に必要な経費を計上

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	62150 観光振興事業費	区分	<input type="checkbox"/> H31新規	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課
枝番・内容	1 教育旅行調査		<input type="checkbox"/> H31拡充	<input type="checkbox"/> R2拡充		款	6	商工費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	2	観光費	内線	2217	
			<input type="checkbox"/> H30新規・拡充		目	1	観光振興費	作成年月	R1.11	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・戦略的な観光施策を展開し、観光振興によるにぎわいの創出を図る。	概要	・若年層の認知度向上に向け、教育旅行に係る調査を行う
----	----------------------------------	----	----------------------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費		
	教育旅行調査委託料	
対前年度増減額(当初予算)		1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・全国の中学校及び高等学校から無作為抽出した学校や教育旅行代理店を対象にアンケート調査を実施し、教育旅行に対する客観的なニーズ等を把握
[スケジュール]	

事業シート(令和2年度予算)

事業名	62200 観光施設運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	観光施設を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光施設を適切に管理運営する。
----	-----------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	444万人		500万人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	251,296	233,029	208,170			
特定財源	国費(観光施設整備事業費1/2)	13,450				
	県費(新穂高温泉園地管理費等)	274	1,774			
	その他(指定管理事業雑入(観光施設)、市債等)	52,509	33,181	54,928		
一般財源	185,063	199,574	151,468			
個票枝番	主な事業内容					
	観光施設の管理運営	117,520	117,482	144,570		
	施設整備	103,191	86,909	63,600		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	219,520
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
293,102	219,520	219,520	11,350
274	274	274	△ 1,500
22,920	53,616	53,616	△ 1,312
269,908	165,630	165,630	14,162
査定額	説明		
155,720			
63,800			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設26施設の管理運営(うち指定管理による運営23施設)を行った。</li> <li>・荘川の里の旧渡辺家屋根葺替など、観光施設の維持修繕にかかる工事を実施した。</li> <li>・奥飛騨温泉郷オートキャンプ場について民間事業者への譲渡を行った。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間と競合する施設もあり、公共施設等総合管理計画に基づき一部の施設では譲渡等を検討していく必要がある。</li> <li>・指定管理者制度の導入により、利用者へのサービス向上や運営経費の縮減が図られている。</li> <li>・滞在型・通年型観光の推進のためにも、観光施設のさらなる有効活用は重要である。</li> <li>・老朽化が進む中、施設の計画的な修繕が必要となっている。</li> <li>・休止施設の活用策について検討が必要である。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に施設の修繕をすすめる。</li> <li>・休止施設の今後の活用策を検討する。</li> <li>・譲渡可能な施設の譲渡に向けた取り組みをすすめる。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光施設の運営及び施設整備に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに



事業シート(令和2年度予算)

27.観光課\_9

事業名	62205 飛騨民俗村再整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・松倉・民俗村エリアの賑わい創出と活性化を図るとともに、市街地観光における周遊性を高める	概要	・飛騨民俗村再整備構想に基づく飛騨民俗村及び関係するエリアの再整備
----	--	----	-----------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	444万人		500万人
飛騨の里の入場者数(年間)	15万人		29万人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
特定財源						
国費( )						
県費( 観光施設整備事業費 1/4 )						
その他( )						
一般財源						
個票枝番	主な事業内容					
◎ 1	飛騨民俗村再整備構想に基づく整備					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
81,247	72,600	72,600	72,600
5,000	5,000	5,000	5,000
76,247	67,600	67,600	67,600
査定額	説明		
72,600	旧富田家屋根葺替、トイレ・待合所設置、文学散歩道土地購入、備品購入 ほか		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	62205 飛騨民俗村再整備事業費	区分	<input type="checkbox"/> H31新規	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課
枝番・内容	1 飛騨民俗村の再整備		<input type="checkbox"/> H31拡充	<input type="checkbox"/> R2拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2209	
		<input type="checkbox"/> H30新規・拡充		目		2	観光施設費	作成年月	R1.11	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨民俗村の再整備を行い、観光振興を図ることで、地域経済の発展に資する。	概要	・飛騨民俗村再整備構想に基づく飛騨民俗村及び関係する地域の再整備を行うもの
----	---------------------------------------	----	---------------------------------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R2当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	72,600
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		72,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	【設計・工事】 ・屋根葺き替え工事(富田家) ・トイレ、バス待合所整備  【土地購入】 ・文学散歩道(休憩施設)  【その他】 ・展示パネル、案内看板 ・入館者用バリアフリー用品(携帯スロープ、車いす補助装置)
[スケジュール]	

事業シート(令和2年度予算)

事業名	62210 スキー場運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		産業振興計画			
			目	2	観光施設費		根拠計画			
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市営スキー場を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・モンデウス飛騨位山スノーパーク及びひだ舟山スノーリゾートアルコピアの管理運営を行う。
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	444万人		500万人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	71,974	71,423	23,204			
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他(観光施設使用料)	139	135	139			
一般財源	71,835	71,288	23,065			
個票枝番	主な事業内容					
	施設の管理運営(指定管理)	45,000	44,452	3,230		
	施設整備	26,000	25,998	19,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		66,140
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
59,675	66,140	66,140	42,936	
138	139	139	0	
59,537	66,001	66,001	42,936	
査定額	説明			
35,290				
30,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者により市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・ひだ舟山スノーリゾートアルコピア)の運営を行った。</li> <li>利用者の安全を確保するためのリフト修繕を実施した。</li> <li>平成30年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 29,863人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 19,138人</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の観光収入の柱であり、関連する宿泊施設、飲食施設に経済効果を与えている。</li> <li>地域にとっては重要な雇用の場であり、地域活性化施設としてのニーズが高い。</li> <li>地域の学校のスキー研修等にも活用されており、冬期間の市民のスポーツレジャー施設となっている。</li> <li>スキー人口の減少や雪不足による営業開始の遅れなどにより安定した収入の確保が難しく、スキー場の経営が困難となっているほか、民間事業者と競合する施設であり、施設の在り方を検討していく必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・リフト等施設の改修整備に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	62220 観光案内所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		産業振興計画			
			目	2	観光施設費		根拠計画			
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光客への適切な情報提供と案内を行うとともに、心のこもったおもてなしによる対応により、滞在の満足度を高める。	概要	・飛騨高山観光案内所及び新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営を行う。 ・まちかど観光案内所を設置し運営する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	444万人		500万人
高山市への再来訪の意向	97.2%		98%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	21,195	20,064	21,515			
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他(入湯税等)	9,140	20,064	8,800			
一般財源	12,055	0	12,715			
個票枝番	主な事業内容					
	観光案内所の管理運営	17,865	16,971	18,185		
	まちかど観光案内所の管理運営	3,330	3,093	3,330		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		22,130
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
22,076	22,130	22,130	615	
22,076	18,427	18,427	9,627	
0	3,703	3,703	△ 9,012	
査定額	説明			
18,800				
3,330				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨高山観光案内所の指定管理による運営を行い、236,057人の利用があった。</li> <li>・古い町並のエリア内にまちかど観光案内所を設置し運営を行った。</li> <li>・新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)を直営で運営し、12,049人の利用があった。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨高山観光案内所は、観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。</li> <li>・飛騨の家具やベレトストープを導入し、高山市の産業や環境保全に関する取り組みをPRしている。</li> <li>・新穂高センターの指定管理者の指定に向け、他施設とのグループ化など募集方法の見直しが必要となっている。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。</li> <li>・利用者のニーズに合った観光案内をするとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者に再訪を促すことのできるような運営を図る。</li> <li>・新穂高センターへの指定管理導入をすすめる。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	観光案内所の運営に必要な経費を計上
---------------------	-------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------